

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

言問通り－2

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」と歩いてきました。

今回は「言問通り」を歩いています。言問通りは文京区本郷弥生交差点を起点に、台東区の隅田川に架かる言問橋に至る延長約4kmの道です。写真右上は言問通りの道路名標識（都道319号線）です。言問通りの名の由来は言問橋に通じる道で言問橋の名は左遷された在原業平が隅田川の鳥に都の恋人を偲んで詠んだ歌に由来します。

「名にし負はば いざ言問はむ 都鳥 わが思ふ人は ありやなしやと」

今回は起点の本郷弥生交差点から寛永寺陸橋まで歩きました。

今回は寛永寺陸橋から終点の言問橋まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[寛永寺陸橋] 台東区上野桜木一丁目 最寄駅 JR 鶯谷駅

寛永寺陸橋（写真下）を下ります。歩行者・自転車用のエレベーターもありました。



陸橋の下を J R 各線が通過しています。当初は踏切で渡っていましたが、1928 年（昭和 3 年）8 月跨線橋がかけられました。坂名の寛永寺坂をとって寛永寺橋と名づけられました。坂の上は寛永寺の境内でした。陸橋を下りて J R 鶯谷駅前に向かいます。

[鶯谷駅前交差点] 台東区根岸一丁目 最寄駅 J R 鶯谷駅北口

鶯谷駅前交差点（写真下右）は尾竹橋通り（都道 313 号線）の起点です。言問通りは直進しますが、尾竹橋通りは左へ進み、宮地方面へ向かいます。右へ行くと鶯谷駅北口です。



[元三島神社] 台東区根岸一丁目 最寄駅 J R 鶯谷駅

鶯谷駅前交差点の先右側に「元三島神社の案内石標」があり、右の小道を入ると、悩まし気なホテルの隣に「元三島神社」がありました。弘安年間(1278～1288 年)創建の古社で鎌倉幕府御家人 河野通有が大山祇神社に弘安の役で戦勝祈願し、武勲を上げたため、上野山中にあった河野氏の館に神社を創建。大山祇神社の分霊を祀ったことに始まります。しかし、徳川幕府から二度にわたり立ち退きを命じられ、現在は本社三島神社が台東区下谷にあります。ここは最初の移転先で根岸の氏子達が分霊を希望し、熊野神社と合祀した現在の元三島神社とのことです。写真下左は元三島神社入り口石段、写真下右は石段上の社殿です。



[鶯谷駅下交差点] 台東区根岸一丁目 最寄駅 JR 鶯谷駅南口



鶯谷駅下交差点（写真左）は右へ行き、JR線の上にある新坂を上ると、右側にJR鶯谷駅南口があります。その先を進むと上野恩賜公園です。

[根岸一丁目交差点] 台東区根岸一丁目 最寄駅 JR 鶯谷駅南口

根岸一丁目交差点（写真下右）で金杉通りと交差します。左へ行くと金杉橋・三ノ輪方面、右へ行くと上野駅方面です。



[入谷鬼子母神 (真源寺)] 台東区 下谷一丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 入谷駅



右側に「入谷鬼子母神」(写真上左)があります。正式名は「真源寺」ですが、大田南畝の狂歌「恐れいりやの鬼子母神」という洒落で、別称の入谷鬼子母神の名が有名です。明治後期頃から境内で始めた近隣の朝顔栽培者による朝顔市は名物になっています。朝顔市は鶯谷下交差点から鬼子母神境内まで続きます。入谷交差点には「入谷朝顔発祥之地の碑」(写真上右)がありました。
寅さん歩 75 江戸・東京の祭—6 江戸らしい祭—1 をご覧ください。

[入谷交差点] 台東区入谷一丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 入谷駅

入谷交差点(写真下右)で昭和通り(国道4号線)と交差します。左へ行くと三ノ輪方面、右へ行くと上野方面です。



[金竜小前交差点] 台東区入谷二丁目 最寄駅 浅草駅



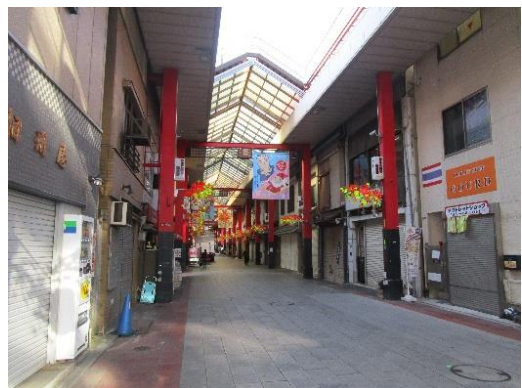
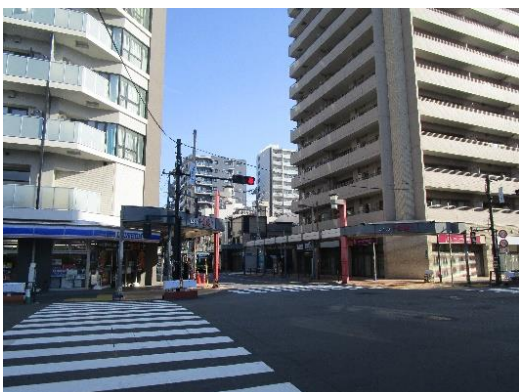
左角に金竜小学校があります。1912年（明治45年・大正元年）創立です。金龍山浅草寺が近くにあるので、金龍小学校と名が付いたといわれます。戦後、金竜小学校の名になりました。右はかっぱ橋遊具街通りで合羽橋方面に行きます。

[西浅草三丁目交差点] 台東区西浅草三丁目 最寄駅 浅草駅

西浅草三丁目交差点（写真下右）で国際通り（都道462号線）と交差します。左へ行くと南千住方面、右へ行くと浅草雷門方面です。



[千束通り交差点] 台東区浅草二丁目 最寄駅 浅草駅



交差点名の表示がありません。左が千束通りなので、千束通り交差点（写真上左）と呼びます。右はひさご通り（写真上右）で浅草花やしき方面です。

[浅草観音堂裏] 台東区浅草二丁目 最寄駅 浅草駅

左側に雷 5656 (ごろごろ) 会館が見えたら、右の小道を入ると、浅草観音堂裏（写真下左）です。「九代目市川團十郎像（暫像）」（写真下右）があります。明治時代に活躍した歌舞伎役者で「暫（しばらく）」は歌舞伎十八番の演目です。2022年11月には第十三代市川團十郎が誕生しています。2022年10月には浅草に帰ってきた平成中村座十月歌舞伎の芝居小屋が観音堂裏広場にかかりました。また、暫像の前では恒例の「奉納泣き相撲」が行われます。

寅さん歩 97 江戸・東京の祭—26 (江戸らしい祭—10) をご覧ください。



[浅草観音堂裏交差点] 台東区浅草二丁目 最寄駅 浅草駅

浅草観音堂裏を見て左折すると、浅草観音堂裏交差点（写真下右）です。



[馬道交差点] 台東区浅草二丁目 最寄駅 浅草駅

馬道交差点（写真下右）で馬道通りと交差します。左へ行くと三ノ輪方面、右へ行くと浅草方面です。馬道とは江戸時代から遊び客が馬を利用して吉原へ通った道筋であったとか、浅草寺に馬場があり僧が馬術を練るために馬場へ行くのにこの道を通ったとか由来には諸説があるようです。遊びと鍛錬との正反対の由来で面白いです。



[言問橋西交差点] 台東区花川戸二丁目 最寄駅 浅草駅

言問橋西交差点（写真下右）が言問通りの終点です。斜め左は都道 464 号線で南千住方面、左は都道 314 号線で白鬚橋方面です。



言問通り（都道 319 号線）の先は浅草方面から来た江戸通り（国道 6 号線）が水戸街道（国道 6 号線）となります。



水戸街道は言問橋を渡り、言問橋東交差点を左折して進みます。

写真左の道路名標識は右角が直角で言問通りの終点と江戸通りの終点を表しています。

標識の色の赤は国道、緑は都道でここは主要地方道を表します、

寅次郎、言問通りの見所はこれまで個別に訪れていましたが、起点から終点まで通して歩いて、その存在を見直し、再度学ぶことが出来ました。

[言問橋]

せっかくですから、言問橋（写真下左）まで行きました。

言問橋は1923年（大正12年）発生の関東大震災の復興事業として建設されています。建設前は「竹屋の渡し」があったそうで、隅田川が台東区と墨田区の区境で、兩岸が墨田公園になっており、お花見で賑わう場所です。

寅さん歩 46 東京の桜 2014-1 をご覧ください。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、

目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年3月3日直江津（現在の新潟県直江津市）（江戸深川から1512km）に到着しました。この後は高田へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝